

## 松戸市立総合医療センター



# 医療連携 News



第 142 号 (2019.3)

編集・発行 松戸市立総合医療センター 地域連携課  
〒270-2296 千葉県松戸市千駄堀 993-1 電話 047-712-2511 (代)  
<https://www.city.matsudo.chiba.jp/hospital/>

医療機関各位

松戸市立総合医療センター  
病院長 烏谷 博英

早春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より、当院に対して一方ならぬご支援を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

「医療連携 News」は、医療機関の皆様方へ毎月お送りしております。是非ともご覧いただき、また患者さんへ必要な情報をご提供いただけましたら幸甚に存じます。

## 耳鼻いんこう科外来・形成外科外来 からのお知らせ

平成 **31** 年 **4** 月 **1** 日から、患者さんの待ち時間短縮等のため 耳鼻いんこう科外来は「完全紹介予約制」、形成外科外来は「予約制」とさせていただきます。

当院へご紹介いただく際には、患者さんに診療情報提供書をお渡しいただき、ご予約をおとりいただきますようお願いいたします。

ご予約がありませんと、患者さんが紹介状をお持ちになってご来院されても、当日の受診ができず別の日の予約をお取りいただくこともありますので、ご了解いただけますようお願いいたします。(緊急性のある場合は除きます。)

【医療機関からの予約】 **047-712-2573** (専用 FAX)

【患者さんからの予約】 **047-712-0685** (専用電話)

【受付時間】 8:30~17:00 (土・日・祝日を除く)

※診療情報提供書をお持ちの患者さんは、自ら電話で予約を取ることができます。



## がんシンポジウム ~がん化学療法公開キャンサーボード~ を開催しました。

当院では地域がん診療連携拠点病院として地域のがん診療の充実を目指し、医療従事者を対象として定期的に「がんシンポジウム」を開催しています。

平成 **31** 年 **2** 月 **1** 日 (金) に開催された、「第 **6** 回がんシンポジウム」では、当院で化学療法を行う各領域の医師が、それぞれの特長や化学療法の進めかたなどを意見交換する様子を公開しました。

今月号では当日行われたシンポジウムの概要を紹介します。



## 第 6 回がんシンポジウム ～がん化学療法公開カンサーボード～

### ◆イントロダクション ～当院の化学療法オーダー～ 必ず事前の『レジメン登録』を経る

化学療法内科部長 五月女 隆

原則として、毎月第 3 月曜日に開催される化学療法委員会で審査をし、承認されれば『レジメン登録』がなされ、担当薬剤師による電子カルテ上の登録作業を経て、はじめて使用可能となります。

身長、体重、最新の腎機能（血清クレアチニン）が投与量計算の時に自動入力され、自動計算されます。今回は各領域の担当医師が集まり、化学療法内科医師から現状についての説明があり、現状と今後の展望につきコメントをもらいました。

### ◆呼吸器領域 ～肺癌、胸腺腫、中皮腫～

呼吸器内科部長 船橋 秀光

肺癌、胸膜悪性中皮腫の化学療法は殺細胞性抗癌剤、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬を使用しています。

11 月末に「肺癌診療ガイドライン 2018 年版」が発刊され、肺癌の一次治療は、癌のドライバー遺伝子が確認された場合の分子標的薬の投与は今までと同様ですが、ドライバー遺伝子が確認されなかった場合には PD-L1 の発現を参考にして殺細胞性抗癌剤と免疫チェックポイント阻害薬の併用や逐次投与が検討されるようになりました。

胸膜悪性中皮腫に関しても二次治療以降で PD-1 抗体の使用が可能となってきています。

#### 登録された薬剤（肺癌）

【殺細胞性抗がん剤】シスプラチン、カルボプラチン、ペメトレキセド（アリムタ）、パクリタキセル、ナブパクリタキセル（アブラキサン）、ドセタキセル、アムルピシン（カルセド）、ビノレルビン（ロゼウス）、イリノテカン、ハイカムチン、エドポシド、（内服エスワン）

【分子標的薬】アバスチン、サイラムザ、オブジーボ、キイトルーダ、テセントリク、イミフィンジ（内服 様々な TKI）

### ◆消化器・乳腺領域 ～食道癌、胃癌、大腸癌、肝細胞癌、胆道癌、膵癌、乳癌～

化学療法内科部長 五月女 隆、外科医長 神谷 潤一郎

胃癌は三次治療、大腸癌は四次治療、膵癌は二次治療までの化学療法の骨格が明確になりました。肝癌は局所治療が主体となりますが、再発・転移例に対し効果を発揮する分子標的薬が使用されるようになりました。食道癌、胆道癌は一次治療としてシスプラチンを含む化学療法を選択しますが、薬剤のバリエーションが少なく、今後の新規分子標的薬の導入が期待されます。乳癌は従来のアンストラサイクリン系、タキサン系薬剤の効果が高く術前術後に多く用いられていますが、さらに HER2 過剰発現、エストロゲン感受性の有無により薬剤の使い分けがなされ、成果をあげています。

#### 登録された薬剤

【殺細胞性抗がん剤】シスプラチン、オキサリプラチン、ネダプラチン（アグブラ）、パクリタキセル、ナブパクリタキセル（アブラキサン）、ドセタキセル、内服エスワン、内服ゼローダ、イリノテカン、5-FU、マイトマイシン、ゲムシタピン、ドキシソルビシン、エピルピシン、シクロフォスファミド、メソトレキセート、エリブリン、ビノレルビン

【分子標的薬】サイラムザ、オブジーボ、ハーセプチン、アービタックス、ベクティビックス、パージェタ、カドサイラ、内服スチパーガ

### ◆内科領域 ～関節リウマチ、血管炎症候群～

内科部長 海辺 剛志

リウマチ治療では、既存の生物学的製剤の多くに皮下注射製剤が開発され、また新規薬剤も皮下注射や経口薬が主流となってきており、外来化学療法室の使用は減少すると予想されます。しかし血管炎や難治性膠原病へのリツキシマブ、シクロホスファミドの投与、生物学的製剤の適応拡大など化学療法のニーズは一定数保たれていくと考えます。

#### 登録された薬剤

【殺細胞性抗がん剤】エンドキサン

【分子標的薬】レミケード、アクテムラ、オレンシア

## ◆婦人科領域 ～卵巣癌、子宮頸癌、子宮体癌～

産婦人科部長 海野 洋一

婦人科で主に扱うのは、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんです。術前・術後・再発の場合に化学療法が行われます。

### 1) 化学療法 代表例：TC療法（パクリタキセル+カルボプラチン）

タキサン製剤であるパクリタキセルでは、しびれの症状がみられる末梢（まっしょう）神経障害が高頻度で起こります。症状が重くなった場合は回復が遅く、後遺症が残ることもあります。

### 2) 分子標的治療 代表例：ペバシズマブ

がんの増殖に関わっている分子を標的にしてその働きを阻害します。子宮頸がんや卵巣がんの場合、化学療法と併用して行われます。

がん細胞に栄養を与える新しい血管の形成を抑えます。腹水の発症を抑える効果があります。ただし、大腸や小腸などの消化管に穴が開くなどの重大な副作用があらわれることがあります。そのため、緊急時に十分対応できる体制が必要です。

#### 登録された薬剤

【殺細胞性抗がん剤】シスプラチン、カルボプラチン、パクリタキセル、ドセタキセル、ゲムシタビン、ハイカムチン、イリノテカン、内服エトポシド、ドキシソルビシン

【分子標的薬】アバスタチン、内服オラパリブ（プラチナ感受性再発）

## ◆泌尿器領域 ～腎癌、尿路上皮癌、前立腺癌、精巣腫瘍～

化学療法内科部長 五月女 隆、泌尿器科部長 北川 憲一

腎癌、尿路上皮癌（膀胱癌・尿管癌・腎盂癌）、前立腺癌、精巣腫瘍と4つの全く性質の異なる癌があり、化学療法として用いる薬剤も全く異なります。腎癌は従来の殺細胞的な抗がん剤が全く効かず、マルチキナーゼ阻害剤や免疫チェックポイント阻害薬が有効性を示しています。免疫チェックポイント阻害薬は、尿路上皮癌の二次治療としても用いられます。前立腺癌は抗アンドロゲン療法が主体となりますが、不応例、高度進行例に対してはタキサン系薬剤（ドセタキセル・カバジタキセル）が用いられます。精巣腫瘍は若年者に多く、シスプラチンを主体とした強力化学療法により転移例でも治癒を目指すことができます。

#### 登録された薬剤

【殺細胞性抗がん剤】シスプラチン、ゲムシタビン、パクリタキセル、メソトレキセート、ドキシソルビシン、ビンブラスチン、ドセタキセル、カバジタキセル、ミトキサントロン

【分子標的薬】トーリセル、オブジーボ、ヤーボイ、キイトルーダ

## ◆血液領域 ～急性白血病、慢性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫～

血液内科部長 藤川 一壽

急性白血病と悪性リンパ腫の治療はこの10年ほぼ停滞していましたが、ようやく分子標的薬が登場する見込みであり、既存の抗体医薬や抗がん剤との組み合わせでさらなる治療成績の改善が望めます。多発性骨髄腫の治療は、ここ数年複数の抗体医薬・分子標的薬の登場で成績が向上し、レガシーな抗がん剤治療は完全に消滅、不治の病であった病気に治癒・長期生存の可能性が出てきています。

#### 登録された薬剤

【殺細胞性抗がん剤】シクロフォスファミド、ビンクリスチン、ドキシソルビシン、ダウノルビシン、イダルビシン、ミトキサントロン、アクリルピシン、L-アスパラギナーゼ、シタラビン、メソトレキセート、エドポシド、プレドニゾロン、内服6-メルカプトプリン、内服レナリドミド

【分子標的薬】リツキシマン、アーゼラ、ガザイバ、マイロターグ、ベスポンザ、ベルケイド、カイプロリス、エムプリシテ、ダラザレックス



## 受託検査のご案内

当院では、他の医療機関から下記の検査をお受けしています。ぜひご利用ください。

●MRI検査 ●CT検査 ●上部内視鏡検査 ●腹部エコー検査 ●骨密度検査

【ご予約方法】

- 1 地域連携課予約担当まで電話 → 担当が日程を調整いたします。
- 2 同封の「FAX 検査予約申込書」に必要事項を記入
- 3 地域連携課へ FAX で申込書を送信  
※「FAX 検査予約申込書」は当院ホームページからダウンロードもできます。  
※骨密度検査ご希望の場合は、お手数ですが検査項目の欄にご記入ください。

【地域連携課予約担当】

TEL 047-712-0685  
FAX 047-712-2573  
受付時間 月～金 8:30～17:00  
(祝日、年末年始を除く)



## 患者さん向けのお知らせ

### がん患者・家族「集いの場」を開催します

【日 時】平成31年3月20日(水) 13:30～15:30

【場 所】松戸市立総合医療センター 8階特別カンファレンス室

【申込等】047-712-2511(代表) 音声案内が流れますので、ダイヤルボタンの6を押し、  
がん診療対策室 担当: 矢野 までご確認・お申込みください。

### 糖尿病教室を開催します

申込み不要

① 【テーマ】糖尿病とは?(食事療法)

【開催日】平成31年3月7日(木)  
【講 師】管理栄養士

② 【テーマ】あなたに迫る糖尿病  
～一年間のまとめ～

【開催日】平成31年3月19日(火)  
【講 師】内科医師

【場 所】松戸市立総合医療センター 2階大会議室 【開始時間】14:00 ※開場は13:45  
【問合せ】047-712-2511(代表) 音声案内が流れますので、ダイヤルボタンの6を押し、栄養管理室(内線:1091)  
までお問い合わせください。



## 臨時休診等お知らせ (平成31年2月22日現在)

<b>3月 診療科の全休診</b>		産婦人科	29日(金)	今泉医師→未定	
小児脳神経外科	8日(金)、12日(火)、15日(金)	循環器内科	18日(月)	高橋医師→福島医師	
皮膚科	11日(月)	<b>4月 診療科の全休診</b>			
<b>3月 医師の休診</b>		皮膚科	5日(金)、15日(月)		
脳神経外科	渡邊医師	1日(金)	<b>4月 医師の休診</b>		
小児科	松本医師	4日(月)	小児外科	松浦医師	9日(火)
耳鼻いんこう科	鈴木医師	4日(月)、6日(水)、 7日(木)、8日(金)	整形外科	宮本医師	9日(火)
			泌尿器科	眞鍋医師	18日(木)
眼科	渡邊医師	11日(月)	泌尿器科	小林医師	19日(金)
産婦人科	真田医師	22日(金)PM	内科	海辺医師	16日(火)、17日(水)
<b>3月 医師の代診</b>					
産婦人科	4日(月)	海野医師→未定			
産婦人科	22日(金)AM	真田医師→未定			